

お花見

野田市 澤 カツ子（諏訪村東中島出身）

「Jネット」で桜の苗木寄贈の時、「昭和二十五年三月上千原小学校卒一同」と言うネーム板をつけました。いつか、同級会をこの桜の花の下でやりたいと思っただけだ。

まだまだ、ずーと先のことになるでしょう。

四年前の「Jネット」の観桜会での幻想的な花吹雪のシーンを思い出し、今年は高田の桜の下で同級会をやるうと高桑さんに声を掛けたら、恩師の金子、大田先生を含めて十六人の参加を得て、「Jネット」の皆さんとの宴の輪に加わることが出来ました。

高田の桜には厚みがあると東京から出席の工藤さんが言います。たしかに、高田の桜は木の多さからも厚みを感じます。会場の「Jネット」の桜も大きくなって私達

を歓迎してくれているようでした。

毎年野田の清水公園の花見が一番喜んでお酒を飲んでいた高橋さんがいなくなり東京組も寂しくなりました。

「Jネット」の皆さん、市長さん、お世話くださる方々にも歓迎され本当に楽しい花見が出来ました。花冷えを心配しましたが日ざしもあり、花も三重櫓も夕日に映えて一段ときれいでした。それにもまして出席者の顔が晴れやかに見えました。

翌日は手配のバスで北陸新幹線桑取トンネル工事現場へ、ヘルメットを付けての初体験見学です。開通はまだ先のこと、一日も早い完成を願っています。次に直江津港を黒井の展望台から眺め、昔と変わった様子にビックリしました。正善寺工房では蕎麦打ち体験し、自分

で打ったお蕎麦に旬の山菜テンブラを添えて満足でした。ここでは味噌作りも体験し、半年後の熟成待ちです。

三々五々帰途に着きました。皆さん雑踏の中への帰還の始まりです。

来年も皆さんと桜の下で一献交わしたいものです。

